CASBEE®北九州　評価結果

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル　　■使用評価ソフト：CASBEE北九州_2014(v2.0)

1 建物概要

建物名称	新日鐵住金㈱ 増設ヤード	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★

2 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点		取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	2.7	/5		がんばろう
2 地球温暖化対策の推進	4.4	/5		よい
3 豊かな自然環境の確保	1.0	/5		がんばろう
4 高齢社会への対応	#####	/5		#DIV/0!

※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点)

評価　凡例	よい	ふつう	がんばろう
	4 点以上	3 点以上	3 点未満

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル：CASBEE-建築(新築) 2016年版　　使用CASBEE評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v.2.1)

1 循環型社会への貢献　　スコア平均 2.8

リサイクルに関する配慮

LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア	2.6

＜自由記述＞

長寿命化に関する配慮

Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数	スコア	2.3
Q2/ 3 対応性・更新性	スコア	3.4

軒高が高く、壁を有しない建物であり、将来の対応性がある

2 地球温暖化対策の推進　　スコア平均 4.4

省エネ・省資源に関する配慮

LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア	4.4

照明設備以外の設備を設置していない

節水に関する配慮

LR2/ 1.1 節水	スコア	

＜自由記述＞
対象外

3 豊かな自然環境の確保　　スコア平均 1.0

生態系保全に関する配慮

Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア	1

＜自由記述＞

緑化に関する配慮

Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	1
LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	1

＜自由記述＞

4 高齢社会への対応　　スコア平均 #DIV/0!

バリアフリーに関する配慮

Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア	

＜自由記述＞
対象外

主な指標

建物の外皮性能（BPI評価）		
非住宅：BPI値、住宅：省エネ等級		
建物の一次エネルギー消費量（BEI評価）		
非住宅：BEIm値、住宅：　ー	0.3	
外構緑化指数	0	%
建物緑化指数	0	%

：入力欄　　：CASBEEー建築(新築)の採点結果から転記してください。

CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要

建物名称	新日鐵住金㈱　増設ヤード	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	
竣工年	2019年5月　予定	評価の実施日	2018年8月16日
敷地面積	6,649,401 ㎡	作成者	江藤　均
建築面積	2,399 ㎡	確認日	2018年8月17日
延床面積	2,379 ㎡	確認者	大成　幸一郎

1-2 外観

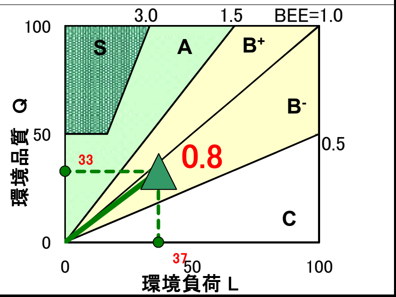
外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =0.8

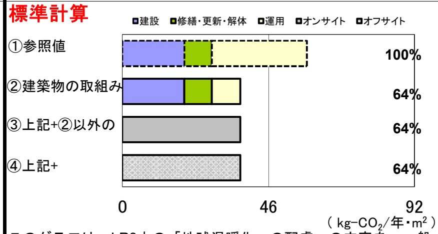
S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

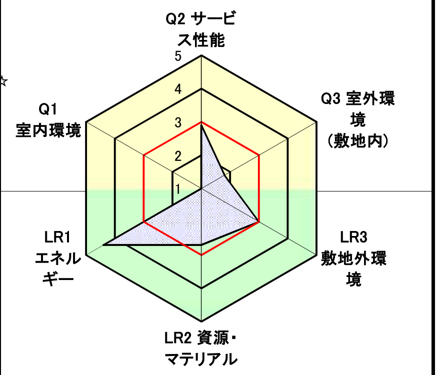
30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

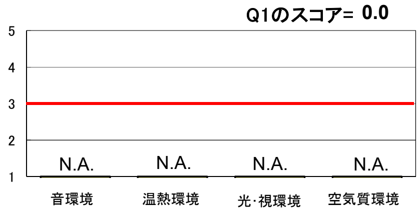


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　*Q のスコア=　2.3*

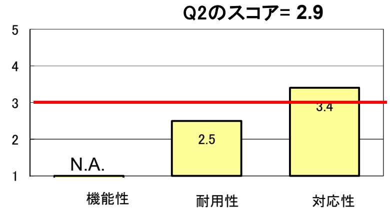
Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0



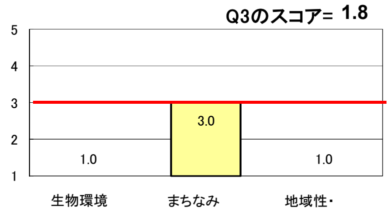
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9



Q3 室外環境（敷地内）

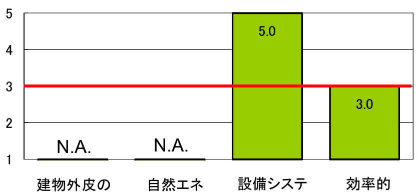
Q3のスコア= 1.8



LR 環境負荷低減性　*LR のスコア=　3.5*

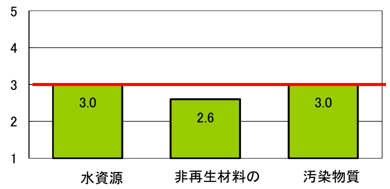
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.4



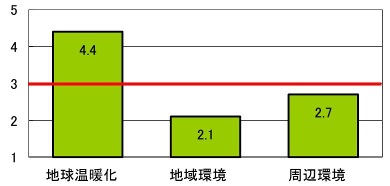
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7



LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.0



3 設計上の配慮事項

総合
壁を有しない倉庫であり、エネルギーの使用がほとんどないように計画

その他
特になし

Q1 室内環境
特になし

Q2 サービス性能
軒高が高く、壁を有しない建物であり、将来の対応性がある。

Q3 室外環境（敷地内）
特になし

LR1 エネルギー
照明設備以外の設備を設置していない。

LR2 資源・マテリアル
特になし

LR3 敷地外環境
燃焼器具を使用しておらず、かつ必要設備がほとんどなく発熱が無い

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版

新日鐵住金㈱ 増設ヤード

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						**2.3**
Q1 室内環境			-		-	-
1 音環境		-	-	-	-	-
1.1 室内騒音レベル		-	-	3.0	-	
1.2 遮音		-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	-	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		-	-	3.0	-	
2 温熱環境		-	-	-	-	-
2.1 室温制御		-	-	-	-	
1 室温		-	-	3.0	-	
2 外皮性能		-	-	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		-	-	3.0	-	
2.3 空調方式		-	-	3.0	-	
3 光・視環境		-	-	-	-	-
3.1 昼光利用		-	-	-	-	
1 昼光率		-	-	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		-	-	3.0	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	
1 昼光制御		-	-	3.0	-	
3.3 照度		-	-	3.0	-	
3.4 照明制御		-	-	3.0	-	
4 空気質環境		-	-	-	-	-
4.1 発生源対策		-	-	-	-	
1 化学汚染物質		-	-	3.0	-	
4.2 換気		-	-	-	-	
1 換気量		-	-	3.0	-	
2 自然換気性能		-	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	-	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO_2の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		–	0.43	-	-	**2.9**
1 機能性		-	-	-	-	-
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		-	-	-	-	
1.3 維持管理		-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		**2.5**	0.50	-	-	**2.5**
2.1 耐震・免震・制震・制振		**3.0**	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		**2.3**	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.22	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.22	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.11	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		-	0.22	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.22	-	-	
2.4 信頼性		**1.5**	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.25	-	-	
2 給排水・衛生設備		-	-	-	-	
3 電気設備		1.0	0.25	-	-	
4 機械・配管支持方法		1.0	0.25	-	-	
5 通信・情報設備		1.0	0.25	-	-	

3 対応性・更新性		3.4	0.50	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	軒高18.5m	5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	30m×105m 無柱空間	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）		–	0.57	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		1.0	0.30	-	-	1.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-		-	3.5
LR1 エネルギー		–	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用		-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.30	5.0	0.71	-	-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.29	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		–	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水		-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	1.00	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	ー	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ー	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨と屋根材は容易に分離できる	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤（断熱材等）		3.0	1.00	-	-	
3 冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境		–	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮	必要設備はほとんどなく、発熱が無い	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮		2.1	0.33	-	-	2.1
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		1.6	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.33	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
3 交通負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-		
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30	-	-	